

経済情勢  
(月例報告 7 月分)

2012年8月  
在コロンビア日本大使館

I 概要

- 2 日, コロンビア・インド投資保護協定が発効し, 19 日には, コロンビア・カナダ二重課税防止条約が発効した。
- 27 日, 日・コロンビア共同研究チームによる EPA 最終報告書が発表された。
- 同日, 中央銀行理事会は政策決定会合を開き, 政策金利を 25 ベーシスポイント引き下げ, 5.0%とすることを決定した。
- 同日, 政府は議会に 2013 年予算案を提出した。予算案総額は 185.5 兆ペソで, 前年の 165.4 兆ペソより 12.2%増加した。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済政策

(ア) 税制改革法案及び年金改革法案 (5 日及び 18 日, 当地紙報道)

エチェベリ財務相及びオルテガ DIAN 長官は, 司法改革法案が廃案になった等の理由から, 20 日に議会提出予定であった税制改革法案の提出が延期されたと発表した。同法案の議会提出時期は未定。また, パルド労働相は, 年金改革法案についても議会提出を見送る旨発言した。9 月には草稿が完成する予定。

(イ) 2013 年予算案の議会提出 (28 日, 当地紙報道)

27 日, エチェベリ財務相は議会に対し, 2013 年予算案を提出した。2013 年予算案総額は 185.5 兆ペソであり, 前年の 165.4 兆ペソより 12.2%増加した。予算作成に当たっては, 財政赤字の削減を優先し, 投資や貯蓄を増やし, 国際的な金融危機や経済の減速から国家を守ることを重視した。また, 国内武力紛争による国内避難民も引き続き優先的配慮の対象とし, 6.2 兆ペソの予算が割り当てられる。

(2) インフラ

(ア) 「エル・ドラド」国際空港 (2 日, 24 日及び 27 日, 当地紙報道)

3 日, コンセッション企業「Opain」社は, 「エル・ドラド」国際空港の国際ターミナルをコロンビア民間航空局に引き渡した。国際ターミナルは 10 月より開業する。現在, アビアンカ航空のターミナルとして使用されている Puente Aereo は, 2014 年 7 月以降, 小規模航空会社の地方路線用のターミナルとして使用される予定。

(イ) リネア・トンネル建設計画 (9 日及び 13 日, 当地紙報道)

環境省は, 環境に与える影響を考慮して, 建設中のリネア・トンネル工事の中断を命じ, 問題解決のために必要な措置を講じないようであれば, 今後, 工事再開の許可は与えないとした。現在, リネア・トンネル全体の約 60%の工事が一時中断している。

(ウ) 道路インフラ入札説明会 (10 日, 当地紙報道)

アンドラデ ANI (国家インフラ庁) 長官は, 海外の投資家に対して, 道路インフラ入札の説明会を 9 月に行うと発表した。これは, 官民連携 (Alianzas Publico-Privadas, APP) の枠組で実施されるインフラ整備であり, 約 40 兆ペソの投資が見込まれる。

(エ) 200 周年石油パイプライン (Oleoducto Bicentenario) (11 日, 当地紙報道)

カルデナス鉱山・エネルギー大臣は, ヨパル (カサナレ県) - サラベナ (アラウカ県) 間の石油パイプラインが, 当初の計画よりも 1 年遅れて 2013 年 1 月より稼働する見込みだと発表した。輸送量は日量 12.5 万バレル。

(オ) 石油関連施設 (29 日, 当地紙報道)

1 月から 6 月までの, FARC 等による国内の石油関連施設の攻撃は, 前年同期比 +253% の 67 回にも及んでいる。この影響で, 1 日あたりの損失額は 100 万ドルにのぼると推定される。その他にも, 石油関連の技術者が誘拐される等の被害が出ている。

(カ) 太平洋鉄道 (31 日, 当地紙報道)

8 月 2 日, 7 千万ドルを投じて建設した太平洋鉄道 (ブエナベントウラージェンボ間) が開通する。170km に及ぶ同路線は, 砂糖, 石炭及びばら荷の輸送に使用される。

### (3) 企業動向

(ア) 全国商工会議所協会 (Confecamaras) は, 第 1 四半期の「コ」国内の新規起業社数が, 前年同期比 15.6% 増の 34,556 社になったと報じた。

(イ) セロ・マトソ社 (13 日及び 25 日, 当地紙報道)

コロンビア最大のフェロニッケル鉱山 (コルドバ県モンテリバノ市) の 30 年間に及ぶコンセッション契約が本年 9 月 30 日に期限切れとなるが, 現在のコンセッション会社であるセロ・マトソ社が 2029 年まで契約延長をする可能性がある。

### (4) その他

(ア) OECD 関連 (9 日, 当地紙報道)

高等教育開発財団 (Fedesarrollo) は, 米国, イタリア, スペイン, ポルトガル及び韓国はコロンビアの OECD 加盟を支持しているが, コロンビアが, インフラ, 保健, 教育, 治安面で必要条件を満たしていないため, OECD 加盟への道のりは長いと述べた。

(イ) 電気自動車充電スタンド (13 日, 当地紙報道)

12 日, ボゴタ市内に Terpel 社の電気自動車充電スタンド第 1 号が設置され, 完成式典が行われた。

(ウ) 「コロンビア・ラウンド 2012 (探鉱・開発入札)」 (31 日, 当地紙報道)

国家炭化水素庁 (ANH) は, 海外企業 75 社が 115 石油鉱区のいずれかに関心を寄せていると発表した。この中には, JOGMEC も含まれる。応札企業は 11 月 26 日に公表される。

## <対外関係>

### (1) 対米 FTA 関連

(ア) コロンビア農業協会 (SAC) は, 「コ」米国 FTA が輸出補助金を禁止しているにも関

ならず、米国政府は対コロンビア輸出品に補助金を出しているとして、米国からの輸入品に対する関税優遇を一時的に中断するよう政府に要求した。ディアス・グラナドス商工観光相は、在ワシントン「コ」貿易事務所に対し、米国の FTA 履行状況を確認するよう命じた。また、レストレポ農業相は米国通商代表に輸出補助金撤廃について報告するよう求めた。

(イ) 対米 FTA 発効から 2 ヶ月が経過し、過去に米国市場への輸出が見られなかった 50 項目近いコロンビア産品（ティラピアの切り身、飴、ドア、窓、書籍、ガラス、飛行機の部品、リネン製品等）の輸出が増加傾向にある。

## (2) 対カナダ関係

19 日、コロンビア・カナダ二重課税防止条約が発効した。これにより、両国間の海外直接投資（FDI）の促進が期待される。

## (3) 対コスタリカ FTA 関連

30 日から 8 月 3 日までの日程で、対コスタリカ FTA 第 1 回会合がボゴタにて開催される。年末までの交渉成立を目指し、今後、双方の国で 1 週間ほどの会合が開かれる予定。コスタリカ側にとって、同 FTA 締結は、太平洋同盟メンバー入りへの重要な一歩である。

## (4) 対インド関係

2 日のコロンビア・インド投資保護協定の発効に合わせ、シンディア商工担当大臣がコロンビアを訪問し、サントス大統領、エチェベリ財務相及びディアス・グラナドス商工観光相と会談を行った。今後、両国間で FTA 交渉が始まる可能性がある。

## (5) 対アジア関係

### (ア) 対日 EPA 関連

27 日に発表された、日・コロンビア共同研究チームによる EPA 最終報告書には、両政府は EPA 交渉をできるだけ早く開始すべきとの結論が出された。日・「コ」EPA により、コロンビアの輸出産業では、農産品、牧畜産品、パン、麺製品、コーヒー、砂糖等の分野の成長が見込まれる。

### (イ) 対中関係

中国複合企業「TIENS」社の李金元総裁は、17 日付当地紙のインタビューに対して、コロンビアの鉱業分野に 10 億ドル規模の投資をすることに関心があり、現在、「コ」国内企業と交渉を進めていると述べた。

### (ウ) 対韓 FTA 関連

8 月 1 日、ボゴタにおいて KOTRA（大韓貿易投資振興公社）主催のビジネス会合が開催される。同会合には両国の企業家が集結し、「コ」韓国 FTA を有効に利用するための話し合いが行われる。

## (6) その他

3日、ディアス・グラナドス商工観光相は、政府は南アフリカやケニア等のアフリカ諸国との貿易関係樹立のための研究を検討中だと発表した。既に、オーストラリアやロシアとは投資保護協定やFTA交渉を視野に入れた歩み寄りが行われている。

## <経済指標>

### (1) 経済活動全般

#### (ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

5月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比-0.2%であった。48項目のうち30項目に減少が見られた。

#### (イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

5月の実質小売売上高指数は前年同月比+0.9%であった。家庭用情報機器(同+17.6%)、靴・革製品(+11.0%)、酒・タバコ類(同+10.2%)が高い伸びを示した。

#### (ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

6月の消費者信頼感指数(ICG)は20.6%と前月(26.5%)を5.9%ポイント下回った他、前年同月比を7%ポイント下回った。

### (2) 産業動向

#### (ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

6月の原油生産量は日量93.4万バレルであり、前年同月比で0.5%減少した。

#### (イ) コーヒー

##### (i) 生産 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による6月のコーヒー生産量は、71.4万袋(1袋=60kg)となり前年同月の47.1万袋を大きく上回り、52%の生産増加となった。

##### (ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

6月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.85ドル(前月は同2.07ドル、前年同月は同2.88ドル)であった。

#### (ウ) 新車販売 (10日、当地紙)

6月の新車販売台数は26,749台と、前年同月の27,030台から僅かに減少した。一方で、1月から6月までの新車販売台数累計は160,831台と、前年同期比で+1.7%であった。

### (3) 物価・雇用 (DANE 発表)

#### (ア) 物価

6月の消費者物価上昇率は+3.20%(前年同月比、以下同)と、前月の+3.44%より僅かに低下した。また、6月の生産者物価上昇率は-0.69%であった。

#### (イ) 雇用

6月の全国平均失業率は10.0%と、前年同月の10.9%から0.9%ポイント改善した。また、主要13都市の平均失業率についても前年同月の11.8%から11.3%へと改善した。

### (4) 金融

(ア) 為替介入

中銀がコロンビア・ペソの対ドル相場安定化のため、6月中に実施した為替介入（ドル買い）の合計額は3.8億ドルであり、1月からの合計額は19.6億ドルに達した。

(イ) 金融政策

27日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、世界的な経済危機に伴う国内景気の落ち込みを避ける目的で、政策金利を25ベーシスポイント引き下げ、5.0%とすることを決定した。

(ウ) 金融部門利益（金融監督庁発表）

1～5月の金融部門利益は17.2兆ペソとなり、前年同期比+161%であった。

(5) 対外債務（中銀発表）

3月末の対外債務総額は768.84億ドルと、前年同月比で13.34%増加した。内訳は442億ドルが公的債務で、326.83億ドルが民間債務となっている。

(6) 貿易・投資

(ア) 貿易収支（DANE発表）

5月の貿易黒字（FOB）は、僅か2,020万ドルであり、1～5月の累計貿易黒字は30.27億ドルとなった。輸出（FOB）全体では、前年同月比+1.2%の52.08億ドル、輸入（CIF）全体では、前年同月比+10.5%の51.88億ドルとなった。

(イ) 対内直接投資FDI（中銀発表）

1～6月のFDI累計額は93.28億ドル（前年同期比+26.2%）であった。このうち石油・鉱物資源への投資額は全体の82.4%を占める。

### Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	11/5	12/3	12/4	12/5
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	4.3	-0.9	-1.6	-0.2
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	4.3	0.0	-0.8	0.1
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	11.5	5.1	-2.8	0.9
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	304.7	136.8	134.2	196.1
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	11/6	12/4	12/5	12/6
(ア) 全国平均	10.9	10.9	10.7	10.0
(イ) 主要13都市平均	11.8	11.4	11.9	11.3
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	11/6	12/4	12/5	12/6
(ア) 前月比	0.32	0.14	0.30	0.08
(イ) 前年同月比	3.23	3.43	3.44	3.20
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	11/7	12/5	12/6	12/7
	4.50	5.25	5.25	5.00
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/7	12/5	12/6	12/7
(ア) 月初	1,772.32	1,768.19	1,833.80	1,784.60
(イ) 月末	1,777.82	1,817.34	1,784.60	1,789.02
(ウ) 最高値	1,748.41	1,831.58	1,834.71	1,797.33
(エ) 最安値	1,777.82	1,763.12	1,766.91	1,771.53
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/7	12/5	12/6	12/7
(ア) 月初	14,075.58	15,460.97	14,130.05	13,703.17
(イ) 月末	14,039.31	14,586.57	13,417.51	13,768.45
(ウ) 最高値	14,159.21	15,460.97	14,149.32	13,889.44
(エ) 最安値	13,129.50	14,293.73	13,081.10	13,373.03
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	11/5	12/3	12/4	12/5
(ア) 輸出額 (FOB)	4,703.9	5,687.4	4,885.9	5,208.2
(イ) 同 年内累計	22,030.4	15,347.9	20,303.9	25,646.1
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,691.2	4,670.7	4,249.1	5,188.0
(エ) 同 年内累計	20,267.1	13,181.8	17,430.8	22,618.9
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	11/5	12/3	12/4	12/5
	359.2	346.9	340.0	363.7
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/7	12/5	12/6	12/7
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,535.54	9,002.92	8,847.92	8,708.03
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：FENALCO社)	11/6	12/4	12/5	12/6
(ア) 単月	27,030	24,941	27,339	26,749
(イ) 年内累計	158,217	106,743	134,082	160,831

(了)